

# 酒田市・旧三町（八幡・松山・平田） 「酒田さとやま」観光プロジェクト

2018.10.13

元気みらいワークショップ「自然」チーム  
田名部 要、高橋美優、阿部彩人、渡部由佳

# 「自然」チームで出た酒田市の現状と課題

▼「自然」チームでの話し合いで、酒田市の現状と課題を洗い出しました。



- ・ 観光スポットが広範囲に単発で点在している
- ・ 観光で旧三町（八幡・松山・平田）の地域連携ができていない
- ・ 旧三町の地域の良さが酒田の市街地の住民に伝わっていない、酒田市民としての一体感が足りない
- ・ 地元の人しか知らないスポットの情報が外に出ていない
- ・ 観光情報の発信が紙パンフレット中心で、置いてある場所が知られておらず、若い人が見ない

# 酒田市の現状と課題～市民にも知られていない"自然"の強み～

※酒田市中長期観光戦略「新酒田物語」（平成28年3月策定）にも、「自然」チームで出た内容と同じようなことが記載されています。

<https://www.city.sakata.lg.jp/shisei/shisakukeikaku/chiikisouseibu/cyokikankosenryaku/cyuucyoukikankou.html>

## ◎酒田市の“強み”（P17より）

### ④美しい自然景観

八幡、松山、平田各地区の美しい里山の景観や数多くの滝なども、酒田の強みである。

## △酒田市の“弱み”（P18より）

### ⑥市民が地域の魅力に気づいていない

酒田市の観光の魅力についてあらためて市民一人ひとりが認識し、観光振興に対する取り組みを行政だけでなく、観光関連業者や企業、団体、市民等と連携して取り組まなければならない。

# 酒田市の観光プロモーションの展開と現状

※酒田市中長期観光戦略（平成28年3月策定）より抜粋・編集  
（3）観光プロモーションの展開（P41より）

## ①国内旅行者向けプロモーション

### <SNS（ソーシャル・メディア）の活用>

影響力の強い口コミ、Facebook等（ソーシャルメディア）で酒田の魅力を拡散する。行政や観光物産協会などの公式メディアのほかに、参加メンバーでも積極的に拡散できるようなグループメディアを設置・拡充する（「新酒田物語」SNSグループなど）。

⇒SNSを活用した観光プロモーションはまだ実現に至っていない  
Instagramの「#酒田みつけ」は、観光プロモーションに十分に寄与できているか？

# 「酒田さとやま」自然観光施策での「ありたい姿」

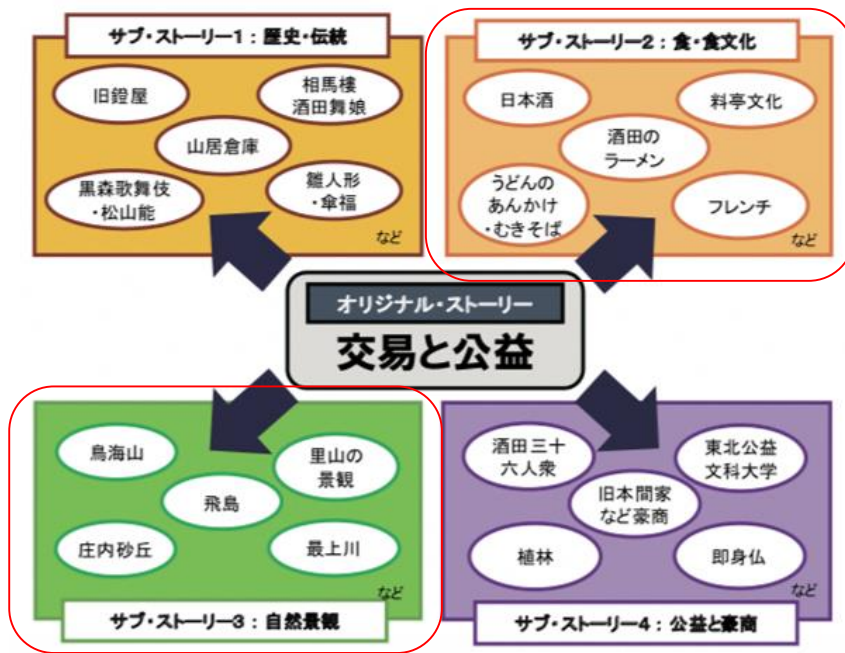
## 〈ありたい姿〉

- ①酒田市の旧三町（八幡・松山・平田）が連携して「酒田さとやま」の自然観光施策を形にする
- ②酒田市民・庄内在住者が、旧三町の「酒田さとやま」の自然の魅力を知り、より豊かな気持ちで生活できるようになる
- ③酒田市に外から訪れた人が、旧三町の「酒田さとやま」の自然の魅力と、酒田市の「おもてなし」に触れるとともに、酒田ファンになってもらう

# 提案の前提：酒田市観光施策の「サブ・ストーリー」

## (4) サブ・ストーリー「新酒田物語」の構成

オリジナル・ストーリーである「KOEKI（交易と公益）のまち・酒田」を核としながら、具体的な観光施策を展開するために、酒田の「強み」である「歴史・伝統」や「食・食文化」、「自然景観」、「公益と豪商」をサブ・ストーリーとして設定します



※「酒田市中長期観光戦略」

（平成28年3月策定）より抜粋・編集

（2）観光戦略策定の視点（P22～24より）

④酒田の個性を光らせるサブ・ストーリー（観光プログラム）の創出

酒田の「オリジナル・ストーリー」（鳥海山の恵みや、最上川舟運と北前船交易による文化を軸とした酒田独自のストーリー）を軸として、これらに関連する酒田市の多様な地域資源を再編集し、それぞれの魅力を引き出せるよう、テーマ性を重視した個別具体的な施策として「サブ・ストーリー」を設定し、計画・展開していく。

※サブ・ストーリーの「自然景観」＋「食」に特化して、旧三町の「さとやま」の自然＋食を満喫できるモデルコースを何パターンか策定します。

# 提案内容①「自然＋食」満喫モデルコース策定&SNS活用

## モデルコース例（自然景観＋食）

※酒田市民、地域おこし協力隊、地域住民等の意見を取り入れて策定

### ○ 1日まるごと「滝&山&食」満喫コース（例）

<午前中>

- ・玉簾の滝（産直ららら） ・不動滝
- ・和滝、慈光滝 ・大沢「大」文字

<昼食>

- ・八幡・松山・平田のラーメン屋
- ・寺田か生石の蕎麦屋

<午後>

- ・生石の展望台、滝の沢の大ケヤキ
- ・山楯大ケヤキ ・十二滝 ・弥左衛門滝 ・眺海の森（夕日）
- ・アイアイひらた、小林温泉、山友直売

⇒モデルコースは「酒田さんぽ」その他情報サイトに掲載打診、  
「酒田さとやま観光」SNSも立ち上げて発信することも検討

◆SNS活用例：各ユーザー投稿  
「#酒田さとやま」のハッシュタグに加えて、以下のような一般的なタグを貼って投稿していただく

- #滝（475,553件）
- #山（1,630,540件）
- #ラーメン（7,054,646件）
- #夕日（2,208,767件）
- #温泉（2,076,150件）
- #自然（4,415,093件）
- #酒田（74,911件）
- #庄内（66,634件）
- #山形（779,313件）
- #東北（389,728件）

SNSのハッシュタグ付き投稿者には、旧三町の産直販売所・観光施設・温泉等で使用できる割引クーポン券をプレゼント！（市役所、総合支所、旧三町のコミセン等で、ご自身のSNS投稿を画面で見せていただくか、印刷した紙を見せていただいたらクーポンを配布）

※提案内容①が軌道に乗ってからの発展形企画

# 提案内容②酒田さとやま体験「おもてなし」ツーリズム

## 「おもてなし」ガイド付き体験型ツーリズムの企画

⇒「酒田交流おもてなし市民会議」や、地域おこし協力隊、地域住民等と連携して実施

### ○ 1日まるごと「滝&山&食+おもてなし」ツーリズム（例）

#### <午前中>

- ・眺海の森
- ・弥左衛門滝
- ・山楯大ケヤキ
- ・十二滝
- ・生石の展望台、滝の沢の大ケヤキ



地元住民の人のガイド付きでご案内

#### <昼食>

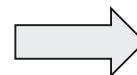
- ・八幡・松山・平田のラーメン屋
- ・そば打ち体験なども検討（※平田地域）

#### <午後>

- ・玉簾の滝（産直ららら）
- ・不動滝
- ・和滝
- ・慈光滝
- ・大沢「大」文字



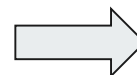
ジオサイトのガイド付きでご案内



地域住民との語らい、  
「大」文字の由来など説明

#### <夜>

- ・大沢コミセンで芋煮会  
（+芋煮ダンス）



芋煮ダンスをレクチャーして  
皆さんで動画撮影

※サブ・ストーリーの「自然景観」+「食」に特化したコース（+おもてなし）のツーリズムを企画